
狂った共犯者に今日も×された。

來羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

狂った共犯者に今日もxされた。

【Nコード】

N1052T

【作者名】

來羅

【あらすじ】

ただの日常の中に求める非日常。

それを追い求める課程と結果。

(前書き)

乱暴な言葉が多少含まれてたりします。

死ねよ

部屋で1人呟いた言葉は宙に漂い、そして消えていく。虚無感だけがこの場に取り残される。

涙などとは実に滑稽なものでしかない、と雀はまた呟いた。

そして雀は言葉と共に漆黒の眠りへと堕ちていく。

また今日が始まった。

つまらない日常をただなんとなく繰り返す毎日。そして、4時間目が終わると今日も雀はいつものメンバー、吉と扇と昼食をとる。

本当に変わらない毎日。

つまらない詰まらないツマラナイ。

ある日扇が読んでいた一冊の小説。探偵物のいかにもつまらなさそうなお小説。唯一、普通の小説と違つところ。

「犯人が永遠に捕まらない。」

普通なら最後は捕まり平和を取り戻しちゃんちゃん、とか、犯人は死んで発見されて結局は悲しい結末とか。

だけどこの小説にそんなことはあり得ない。犯人には絶対に捕まらない自信があるし、そもそも探偵や被害者本人、その親や友達。遂には警察にまで捕まえる気があるのかわからないほど何も証拠が出てこない。手がかりが掴めない。

そうしてこの事件は結局解決しないまま終わる。

なんとも滑稽な小説。

犯人が犯行に及ぶまで約2週間。そんな短時間でここまで完璧な犯罪を行ってしまう犯人には感心する。

だが、今ひとつ残念な報告がある。

俺の方が完璧な犯罪が出来る。本当に完璧というのは、罪を犯した
ことすらなかったことにすることを言っただよ。犯人さん。

(後書き)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1052t/>

狂った共犯者に今日も×された。

2011年10月8日23時34分発行